

社北の宝を見つけよう

3年生が5月12日（水）、総合的な学習の時間に「社北の宝を見つけよう」と題した地域調査へ出かけました。3コースに分かれて、8つのポイントを巡りました。

訪れた8つの場所
六地藏・森の木・丹巖洞・泉通寺
熊野神社・狐橋・あじさいロード・学校田

「六地藏」では、「大飢饉で亡くなった家族を悲しんで建てられた」ことを知りました。安置されている地藏は、六体だけでなく、大小合わせて二十体を超えていました。きっと、昔の飢饉でたくさんの方が死んだからだろうと想像できました。

「森の木」は樹齢700年にも及ぶ大きなケヤキの木です。木を見上げて、大きさを実感しながら、説明板を読みました。昔の村人が「神が宿る」として大切にしていた木を、数百年にわたって現在まで守られていることに驚きました。

大きな門がある泉通寺の境内には、「法然いちょう」や御堂、石碑などがありました。グループごとに境内を巡り、見つけたことをワークシートに書き込みました。

地域へ出かけての調べ学習の後、ワークシートに印象に残ったことを場所別にまとめて振り返りました。

個人のまとめの次は、クラス全体で分かったことを発表し合いました。先

生が、訪問場所別に子どもたちの発言を黒板に整理していきます。友達の発表から、新たな気づきをもらったり、自分の考えに自信をもてたりしました。

これからも、3年生の総合的な学習では、地域の人・もの・ことに関わる活動を行います。社北地区の歴史や伝統文化に興味を持ち、自分と地域のつながりに気づかせていきます。

